

# 環境目標1 富士・箱根・愛鷹の自然の恵みとふれあうまち

## 1-1 生きもののすみかの保全

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
1-1-1 自然の河川の流れを守ろう	生物や景観に配慮した河川の整備	市内を流れる普通河川・準用河川に自然素材を利用して生態系を保全したい。しかし、自然石等にて整備を促進する範囲は限定される。自然素材としては、巨石積み・雑割石および生態系ブロック等である。 ①石積工 L=0m A=0㎡②巨石積み工 L=41m A=66㎡③生態系ブロック工 L=60m A=90㎡ 生物に配慮した護岸整備延長 2.6km(平成20年度)	建設室
	河川の適正管理	裾野市コミュニティづくり推進協議会の事業として、地域の環境問題を重要視し、環境美化活動を推進している。その一として、毎年、春と夏に各地区において、環境美化活動(河川等一斉清掃)を実施している。同じ地域に住む方々が一斉に行くことにより、大きな効果をあげているとともに、児童、生徒等が参加することにより、家族や地域の方々と交流を深める場となっている。実施時期については、毎年4月及び8月の第3日曜日としている。なお、4月の時期には実施しない区もあるため、今後推進協議会を通し、実施を呼びかけていく。 (平成20年度実績 24,960人)	地域振興室
		市内河川一斉清掃時を除く地区住民の率先した清掃に対して、使用する機械の使用料(借り上げ料)を補助している。 H17実績 2地区 64,050円 H18実績 1地区 32,025円 H19実績 1地区 32,025円 H20実績 2地区 64,050円 静岡県管理となっている一級河川については、河川愛護月間(7月)に静岡県土木事務所と合同で河川パトロールを行っている。 準用河川などの裾野市管理河川については、要望調査や苦情の確認の際に併せて点検を行っている。 警報等の発生時は、河川の巡回パトロールを行う。	建設管理室
1-1-2 農地の活性化をはかろう	農地の保全と有効活用	農業の担い手としての認定農業者を下記により育成している ①認定農業者で組織されている認定農業者協議会へ補助金を交付し、認定農業者の組織的な活動を通し生産性の向上のための事業を行っている。(10万円)(認定農業者数19人) ②認定農業者を育成するため、裾野市担い手育成総合支援協議会を設立し営農支援・助言等を行う。	農林振興室
		地産地消を推進・・・生産組織の集合体である中核農業者協議会を通じ、補助金を交付し生産活動を活性化させている。(420万円) ふれあい市の生産者組織である直販部会へ補助し、地産地消を推進している。	
		富士見農園・城址農園とも19年度で廃止した。(市が運営する市民農園は廃止となったが、今後それらの農園は民間レベルで運営していく。) 現在は、特定農地貸付法や、農園利用方式による農業者主体の開設を促している。	
		農作物の食害被害を防止するため、有害鳥獣パトロール及び有害鳥獣捕獲を実施。 有害鳥獣パトロール 平成20年4月1日から平成21年3月31日の12ヶ月間 有害鳥獣捕獲 H20実績 29件(鹿 22頭 猪 6頭 サル 0頭 ハシボソガラス 1羽)	
	生物に配慮した農地の整備・管理	平成18年5月29日施行のポジティブリストを見据えた活動を展開している南駿農業協同組合が実施する営農目的の事業に補助金を交付している。	農林振興室
1-1-3 豊かな森を創造しよう	森林の適正管理	豊かな森を育むためには、定期的な森林管理が不可欠である。このため林道・作業道の整備を実施することにより森林の適正管理に寄与している。 ①市単独林道事業 6路線 L=276m ②県単独林道 5路線 L=934m	建設室
		毎年200haを目標に間伐実施を行っている。 201.05ha/年(平成20年度) 県の補助事業を利用しながら、葛山線を開設した。また、随時、林道の改修および補修工事をおこなっている。	農林振興室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
1-1-3 豊かな森を創造しよう	森林の保全	富士流域地域森林計画をもとに、裾野市森林整備計画を策定して森林整備計画をおこなっている。	農林振興室
	土砂流出の防備	治山治水対策事業として、演習場内の平塚道を防衛庁の委託事業として整備していたが、19年度より国の直轄事業により施工されている。 ①平塚道流路工（全体計画1,300m）	建設室
		県補助事業を利用しながら、毎年、間伐材による土砂流出防止柵を、4m×0.5Hで500箇所を目途に設置している。	農林振興室
1-1-4 計画的な土地利用を推進しよう	計画的な土地利用	・平成16年度に深良、富岡、須山の3地区について、既存集落としてのあり方の方向性を調査し、平成18年4月に指定大規模既存集落制度の区域指定がされた。制度利用で土地利用を図るためには集落内の整備が有効となることから、地元の整備機構の立ち上がりによって、整備方針の検討を進めることが期待されるが予定はない。	都市計画室
		・裾野市農業振興地域整備計画の策定、農業振興地域事前協議による指導、農業振興地域整備促進協議会の意見聴取による計画的土地利用指導を行い優良農地の保全を図る。 ・裾野市森林整備計画の策定し、計画的土地利用を推進する。 土地利用目的に応じた区分ごとの規模の目標 360ha(農用地) ①定期的な農地パトロールの実施 ②違反転用者に対する指導	農林振興室

1-2 生きものの保全・ふれあいの推進

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
1-2-1 動植物を保全しよう	貴重な動植物の保全	1. 富士山資料館敷地内に育っている四季折々の植物についてその育成状況を調査するとともに、写真による記録を残し市民に紹介していく。 2. 富士山資料館敷地内に育っている貴重植物について、環境を整備するなど保護していく。	富士山資料館
		アシタカツツジ原生群落の保全管理として、開花時期(5月中旬から6月中旬頃)を目処に須山振興会に委託し、遊歩道の清掃、下刈り等を行っている。 また、開花期間中の土曜日、日曜日は多くの見物客で賑わうため、シルバー人材センターに委託し、交通整理を行っている。	商工観光室
		・豊かな自然の象徴である巨樹・巨木を通じて、良好な自然環境の保全と自然保護意識の普及・啓発を図ることを目的とする静岡県巨樹の会に参加している。	農林振興室
	野生生物の適正管理	県委託放鳥として平成20年10月30日に市内各所においてキジの放鳥を行った。	農林振興室
1-2-2 自然を学び伝えよう	自然環境の調査・学習・体験	市民を対象とした春、夏の自然探索会を継続的に実施し、富士山に動植物等の学習会を開催している。また、資料館を訪れた方々を中心に自然科学講座を開催し、植物の葉・花などの特徴を講師による解説も含め学習している。	富士山資料館
		自然案内図の製作については、実施実績なし。 エコツアーについては、調査協力等の申し出は無かった。	商工観光室
1-2-2 自然を学び伝えよう	自然環境の調査・学習・体験	・河川の汚濁が進み、水辺に親しむ機会が少なくなっている今日、河川への関心が薄れつつある。そこで、夏休みの研究等河川に生息する水生生物を親子で観察し、水質調査を体験しながら水環境保全意識の啓発を図る。 ・親子水生生物調査 年1回（7月～8月） ・市の広報紙、ローカル紙、ケーブルテレビ等の活用をし、募集をしている。 ・水生生物調査をし、時間内に集計まで出している。 親子水生生物調査参加人数 26人/年(平成20年度)	環境推進室
		富士山の自然と環境を守る会を4市1町で組織しており、年1回総会、幹事会3回、研修会1回にて情報交換	

具体的な 取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
1-2-2 自然を学び 伝えよう	自然とのふれあい活動 の場の整備	<p>1. 市民を対象とした春、夏の自然探索会を継続的に実施し、富士山に動植物等の学習会を開催している。また、資料館を訪れた方々を中心に自然科学講座を開催し、植物の葉・花などの特徴を講師による解説も含め学習している。</p> <p>2. 資料館展示室に展示している岩石標本など、手で触れるなどの体験コーナーを設けている。</p> <p>3. 資料館講座での自然探索会では、水ヶ塚一須山胎内コースや西臼塚周遊コース、御殿場口太郎坊一幕岩、三ツ塚コースなどのコースを探索することで、人の五感を使った自然体験を実施している。また、小中学校が実施するフィールドワークにも協力している。</p>	富士山資料館
		<p>自然林を活用した体験活動は、小学校(1)、中学校(2)で行っている。自然林の活用を意図した活動ではないが、自然林など自然に触れる野外活動を行っている学校もある。</p> <p>入田川の水質調査や生物観察、不動の滝の生物観察を行なっている。</p>	学校教育室
		<p>自然とのふれあいや潤いの水辺空間整備の黄瀬川公園整備事業は、昨年度完了しているため実施していない。</p> <p>親水川岸の延べ流域整備面積 1.91ha(平成20年度)</p>	建設室
		<p>水が塚遊歩道、黒岳・越前遊歩道、富士山須山登山道等の整備を委託して行っている。</p> <p>平成20年度より3ヶ年で富士山遊歩道の整備工事を行いアシタカツツジ等の植栽を行う。</p>	商工観光室

## 環境目標2 水と緑を大切に 身近な歴史を生かしたまち

### 2-1 環境美化の推進

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
2-1-1 景観を守る	景観意識の啓発	裾野の美しい自然景観のについては、富士山を中心とした写真が掲載されている観光パンフレット等をキャンペーン等で配布しPRしている。 景観スポットの審査・認定については実施には至っていない。	商工観光室
	休耕農地の景観対策	市内の農家に対して、景観作物の作成を推奨している。 ①農業委員による地元農業者に対する啓発 ②景観作物の研究 景観作物作付面積 2,200㎡	農林振興室
	富士山の景観対策	美しい富士山が見える場所マップについては、単独のマップではないが、「裾野観光マップ」の中に数箇所ポイントが記載されている。 富士山溶岩流の景観を保全する取組みは実施されていない。	商工観光室
2-1-2 都市景観を創ろう	景観計画・規制・協定等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外広告物条例による屋外広告物の規制が図られ、条例に基づく許可事務を行っている。(20年度取扱い件数100件)</li> <li>・17年度に裾野駅西地区計画が新たに決定され、千福が丘地区計画は土地利用の状況により一部変更した。</li> <li>・地区計画が都市計画となっている地区は、千福が丘地区、南部地区、裾野駅西地区の3地区、地区内での建築等の行為は届出必要。</li> <li>・景観形成基本計画策定に関する検討を平成20年度から着手した。</li> <li>・佐野茶畑線の街路整備では、JR御殿場線を跨線する橋梁区間があり、アプローチ区間を含めて電線を地中化とした。(地中化延長240m)</li> <li>・その他の電線地中化事業は行われていない。裾野駅西土地区画整理事業で地中化が計画されている。</li> </ul>	都市計画室
	市民による景観保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅西土地区画整理事業の区域内、平松新道線、裾野停車場線、桃園平松線、駅前広場、小柄沢線の電線類(L=2.5km)の地中化を、静岡県無電柱化推進計画に基づき、電線管理者・道路管理者と調整のうえ実施する。</li> <li>・駅西プロムナード線、駅前広場、小柄沢線は植樹等の緑化推進を行う。</li> <li>・小柄沢川、三間堀川においては、環境・修景に配慮し整備を行う。</li> <li>・平成18年度から、平松新道線(県道三島裾野線)の50m区間を静岡県無電柱化推進計画(第5期)の計画区間(合意区間)として承認され、平成19年度には、電線類地中化の詳細設計等の作業をおこなった。</li> <li>・平成20年度に、沼津土木事務所(道路管理者)を通じて、電線管理者との協定及び実施計画等の承認申請作業を行なった。平成21年度には、静岡県無電柱化推進計画(第6期)に残計画区間の承認を目指す。</li> </ul>	区画整理室
2-1-2 都市景観を創ろう	公共施設・公共事業の景観配慮	・佐野茶畑線の街路整備において、JR御殿場線の跨線橋梁とアプローチ区間について電線を地中化とした。	都市計画室
2-1-3 ポイ捨てをなくそう	ごみ拾い運動の実施	富士山の良好な自然環境を守り、日本の象徴としての富士山をいつまでも美しくすることを目的として登山口で一斉清掃を行い、富士山の恒常的美化思想啓蒙の普及を図っている。 平成20年度の富士山一斉清掃は雨天により中止。	商工観光室
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報すそのへ掲載</li> <li>・ポイ捨て防止看板の設置</li> </ul>	環境推進室
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ペット飼い主のマナーについては</li> <li>①広報裾野への掲載</li> <li>②自治会へ回覧</li> <li>③狂犬病集合注射時の啓発</li> <li>④犬・猫の看板配布</li> </ul>	環境推進室
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集のない第5水曜日を、環境美化の日として、収集業者及び市職員等が協力し環境美化を目的とした活動を行う。</li> <li>・各種団体による清掃活動について、収集車等の配置を行う。</li> <li>クリーンアップ作戦参加者数 42人/年(平成20年度)</li> </ul>	環境推進室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
2-1-4 不法投棄をなくそう	不法投棄対策	・美化センターでは、シルバー人材センターに不法投棄パトロールを委託し、パトロール時に発見したごみの回収も行っている。またパトロールの強化については予算削減により対応が難しくなっている。(5月～2月までの10ヶ月間実施 週2回) 不法投棄苦情件数 159件(平成20年度)=シルバー出勤日数+環境推進室回収数+センター回収数	美化センター
		・広報すそのへ掲載、不法投棄防止看板の設置 不法投棄苦情件数 72件/年(平成20年度)	環境推進室

## 2-2 緑の空間の創造

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
2-2-1 街に緑道を増やそう	道路緑化・整備・管理	・道路の構造基準に基づいて植樹帯が設置できる道路については街路樹など緑化を進めてきた。道路緑化延長14,670m(平成20年度) ・自転車、歩行者のための安全区間の確保など緑化空間の確保が難しい状況にあるが、残空間の利用など緑化に配慮して整備を進めている。	都市計画室
		シルバー人材センターや業者に委託して剪定や草取り、消毒を適宜行っている。	建設管理室
2-2-1 街に緑道を増やそう	道路緑化・整備・管理	小柄沢緑地と駅西公園を結ぶ小柄沢線(w=6.0m)を植樹等により、小柄沢川と合わせて一体的に歩行者空間として整備を行う。 駅前広場と駅西プロムナード線(w=10m)を連動し、せせらぎと合わせ中低木・花壇等を設置整備を行う。 平松新道線、裾野停車場線、桃園平松線の各自転車・歩道部において、景観に適した植樹を行い、季節感のある街並みを形成する。 平成20年度に、平松新道線起点上り線区間、L=92mの歩道整備工事を実施し暫定供用を開始した。又、(準)三間堀川河川改修工事L=62m、計L=112m、19・20街区宅地造成工事A=2,080㎡を完了させた。	区画整理室
2-2-1 街に緑道を増やそう	遊歩道の整備・管理	植樹等の緑化推進できる道路の築造は該当なし。	建設室
		地元自治会やPTA等の要望があった場合、調査し修繕工事等を行う。	建設管理室
		水が塚遊歩道、黒岳・越前遊歩道、富士山須山登山道等の整備を委託して行っている。 平成20年度より3ヶ年で富士山遊歩道の整備工事を行いアシタカツツジ等の植栽を行う。 箱根山麓には遊歩道は整備されていない。	商工観光室
		河川管理用道路の付属する河川改修は該当なし	建設室
2-2-2 公園を増やそう	計画的な公園整備	・土地区画整理事業で確保された伊豆島田地区内の2箇所の公園用地を身近な公園として整備するため、平成17年度において地元住民によるワークショップを行い、整備計画を作成した中川公園整備が19年度に完成し、昨年度の南部公園同様、地元と維持管理確認書を締結した。 ・16年 20.65/52,614 ・17年 21.01/52,625 ・18年 21.22/52,439(南部公園追加) ・19年 21.48/54,281(中川公園追加) ・20年 21.48/54,377	都市計画室
	公園の維持管理	現在ある中央公園、偕楽園、景ヶ島公園、アシタカツツジ園等は市が委託により管理している。 公園の維持・管理を常態として市民活動で行ってはいないが、年数回の新潟県人会、佐野ずがに会をはじめ、ライオンズクラブ、明るい街づくりの会など約10ほどのボランティア団体が、それぞれ年1回程度中央公園の清掃奉仕活動を行ってくれている。	商工観光室
2-2-3 緑化を推進しよう	緑化の推進	・緑の基本計画は、緑化施策や公園施策などの整備目標を示すものであり、推進は個別施策の実施状況による。	都市計画室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
2-2-3 緑化を推進しよう	緑化活動の支援	緑化に関する市民への直接的な働きかけはしていないが、児童・生徒の学習活動を通して、「緑化」への意識高揚を図っている。学校環境の整備の中で、植物を栽培したりすることを通して「緑化」を意識することへつながっている。	学校教育室
		緑化活動の推進として17年度に(財)イオン環境財団設立15周年記念活動の植樹を利用し東小学校・中学校に植樹を行った。 学校敷地内の緑化・花の栽培等に必要な土・肥料・種等の支出 18年度は開校した南小に(財)静岡県グリーンバンクより苗木をもらい学校施設周辺の緑化に努めた(教員・市教委が受け取りに)	教育総務室
		10月と3月に市内の保育園・幼稚園・小・中学校・須山老人会・花の会等に種子、球根、緑花木を、グリーンバンクより配布した。	農林振興室

### 2-3 歴史的遺産の保全と啓蒙

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
2-3-1 歴史的遺産を保全しよう	歴史的遺産の調査・整備・管理	1. 富士山や郷土の歴史や文化、人物に関する特別展等を開催すると共に、現地調査・資料調査を行い資料集としてまとめている。 2. 富士山須山口登山道に関する史跡や文化財、須山浅間神社などの調査を重ね、その特徴を講演会やシンポジウムなどを通して紹介している。	富士山資料館
		・深良地区青少年育成連絡会によるクリーンアップ作戦の実施 小中学校の児童、生徒及びその保護者約130人参加、80kgごみ収集 ・郷土資料館にて深良用水の歴史資料、位置・構造の模型、写真等を展示。見学者725人・開館日数54日 ・歴史探訪会の開催。 ・資料の収集。	深良コミュニティセンター
2-3-2 歴史的遺産を学ぼう	歴史的遺産の啓蒙	1. 富士山や郷土の歴史や文化、人物に関する特別展等を開催すると共に、現地調査・資料調査を行い資料集としてまとめている。 2. 富士山須山口登山道に関する史跡や文化財、須山浅間神社などの調査を重ね、その特徴を講演会やシンポジウムなどを通して紹介している。	富士山資料館

## 環境目標3 みんなで取り組み よりきれいな水と空気を未来につなぐまち

### 3-1 ごみ減量の実践

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
3-1-1 ごみを出さないようにしよう	ごみ減量の意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境防災室で作成した基本計画に基づき、ごみ処理を行なっている</li> <li>ごみ減量の啓発活動を行なっている環境防災室と協力し、ごみ処理対策を行なっている。</li> </ul> 一般廃棄物収集委託料113,783千円(2社 平成20年度)  (平成20年度実績) ごみ排出量合計 18,107t/年 家庭系ごみ1人1日排出量 674g/日 事業系ごみ排出量 4,729t/年 容器包装廃棄物の資源化量 2,790t/年	美化センター
		<ul style="list-style-type: none"> <li>人口推計の見直し、地球温暖化やダイオキシン類問題の対応、また、排出量の削減はもちろんのこと、国・県と連携し、リデュース(排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再利用)の3Rを推進していく。</li> </ul> 環境大会への参加者数 300人/年(平成20年度)	環境推進室
	容器包装の減量	この事業は、平成15年度から「エコカード制度」としてスタート。飲食店で食べ残しをしない、オシボリを断る等一つでも環境にやさしいことをする、レジ袋に頼らず買い物袋を持参する。“お買い物いつもおともはマイバッグ”をキャッチフレーズに多くの市民が、ごみ減量をし、環境にかける負荷を減らす努力をしている。(資源の節約・地球温暖化の防止) ①加盟店に於いて、1回の買い物にレジ袋を断る、食堂等でマイハシ持参等環境にやさしいことをするとスタンプを1つ押してくれる。それを20個押しでもらうと、1枚のカードが一杯になる。その一杯になったカード1枚で委員会が行う抽選会に1回参加できる。平成20年度第3回マイバッグ運動推進委員会にて平成21年度をもって、エコカード制度とそれに伴う抽選会を終了することが承認された。 実績：18年度使わずに済んだレジ袋85,431枚重さにして683kg 19年度使わずに済んだレジ袋117,216枚重さにして938kg 20年度使わずに済んだレジ袋120,102枚重さにして961kg ②第8条に定める団体「特定団体」に於いては委員会から現金による還元を受けられる。 「特定団体」とは、社会福祉協議会。市内幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・のPTAをいう。(PTAの活動費)エコカード制度の廃止により、現金による還元についても平成21年度3月31日いっぱいまで終了する。	環境推進室
	事業系ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> <li>焼却炉等の廃止等により、持込量の増加が見込まれるが、リサイクルを呼びかける。</li> </ul>	環境推進室
	ごみの適正処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>処分場内に搬入されたごみの埋立てや、浸出水の処理については、一部業者委託を含め、公害を出さないよう適切な管理を実施している</li> </ul> 最終処分量(埋立量+客土) 1,978m <sup>3</sup> /年(平成20年度)	美化センター
3-1-2 リサイクルを推進しよう	分別収集の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ごみは、古紙類、ビン類、飲料缶を含む金属類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、乾電池、牛乳パック類等に分別し、回収している。</li> <li>その他プラ及びペットボトル処理及び再商品化委託料 38,291千円(H20)</li> <li>その他プラ及びペットボトル収集委託料 17,762千円(H20)</li> </ul>	美化センター
		<ul style="list-style-type: none"> <li>広報すそのへ掲載、自治会へ回覧。ごみ減量推進委員会機関紙(ステーション)全戸回覧する。</li> </ul>	環境推進室
3-1-2 リサイクルを推進しよう	有機ごみのリサイクル	市内に住居を有するもしくは市内に店舗、事業所、事務所等を有するものにつき、以下の処理機が補助対象となり、ごみ減量化及び再資源化に寄与している。 ① ばかし容器・・・1世帯2個を限度 3年に1回申請可 購入費の1/2以内 限度額3,000円 (平成20年度実績 3件) ② コンポスト・・・1世帯1個を限度 3年に1回申請可 購入費の1/2以内 限度額3,000円 (平成20年度実績 12件) ③ 一般家庭用生ごみ処理機・・・1世帯に1機 5年に1回申請可 購入費の1/2以内 限度額20,000円 (平成20年度実績 21件) ④ 事業用生ごみ処理機・・・1事業所に1機 申請は1回のみ 購入費の1/3以内 限度額1,000,000円 (平成20年度実績 0件) 生ごみ処理機器等設置基数(累計) 1,858件	環境推進室
	リサイクルの意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報すそのへ掲載、自治会へ回覧</li> </ul>	環境推進室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
3-1-2 リサイクルを 推進しよう	グリーン購入	市役所において職員が使用する文具(共通消耗品)を可能な限りエコマークなどの環境ラベルに適合した商品とし、環境への負担を軽減している。 市役所において職員が使用するコピー用紙をグリーン購入法適合商品(古紙パルプ配合率70%以上かつ、白色度70%)として、環境の負担を軽減している。	総務室
		全室で購入時選択して購入していると思われる。	環境推進

3-2 生活環境の保全

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
3-2-1 水をきれい にしよう	生活排水処理施設の 整備・管理	(平成20年度実績) (平成20年度末実績) 整備面積 17.1ha 302.9ha 全体比率 29.5%(302.9÷1026.5ha) 水洗化率 2.2% 85.3% 管布設延長 3,987.00m 76,759m マンホール総数 194基 3,643基 汚水枘設置総数 218箇所 5,276箇所 排水設備工事融資斡旋件数 0件 99件 下水道普及率 30.6%(平成20年度)	下水道室
		生活排水処理については、処理施設の誘致場所を決めるの難しいと考えられる。 現在、市街化区域においては下水道事業が進められており、まずは下水道整備を充実させることが先であると考えられる。 調整区域においては、順次で後の整備となってくると考えられるが、それまでは、合併処理層を設置すれば補助金ももらえるので、それらで対応しながら整備を進めるのものである。	農林振興室
		下水道認可地域外に対して、合併浄化槽の普及を促進するため裾野市合併処理浄化槽設置整備事業補助金を交付している。 ① 5人槽 補助額:177,000円 (平成20年度実績 新設:21件 入替:5件) ② 6~7人槽 補助額:204,000円 (平成20年度実績 新設:29件 入替:0件) ③ 8~10人槽 補助額:258,000円 (平成20年度実績 新設:10件 入替:3件) ※汲取り及び単独浄化槽から合併浄化槽へ入替の場合は上記金額に30,000円上乘せ。 生活排水処理率 調査中(平成20年度)	環境推進室
		・平成18年度中に一般廃棄物処理基本計画の見直しを行なった。 ・人口推計の見直し、地球温暖化やダイオキシン類問題の対応、また、排出量の削減はもちろんのこと、国・県と連携し、リデュース(排出抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再利用)の3Rを推進していく。	環境推進室
3-2-1 水をきれい にしよう	生活排水対策	県狩野川流域浄化センター(主催)と連携し8月16日に実施された見学会の募集を広報紙でおこなった。	下水道室
		「家庭からの排水をきれいにし、川をきれいにしよう」をテーマとし、家庭の排水の浄化や市内の川と配水について、活動報告としてパネルを作成し、環境大会や消費生活展等へ参加して水辺の環境に寄与している。 活動: ・親子水生生物調査での指導。 ・市内小学校総合学習の一環として水生生物調査・水探検・家庭排水で川を汚さない工夫等の指導 ・市内水辺(湧水・河川等)の視察研修会、市外の水環境視察研修 ・環境大会参加のためのパネル作成	環境推進室
		・化製場法に基づく申請 10匹以上の犬を飼育(平成20年度1件)	環境推進室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
3-2-1 水をきれい にしよう	事業排水対策	豚には、予防注射、蜜蜂・馬・牛・養鶏には、検査により家畜伝染病予防の推進をしている。 家畜排泄物法(水質汚濁法)により浄化装置を取り付けて他市へ一部を除き移設している。	農林振興室
		・汚水を排出する事業所について、公害防止協定を締結している。(H21.3.31現在20事業所) ・協定締結事業所について、年3回水質調査を行っている。(協定値超過件数:平成19年度2件、平成20年度3件) ・水質汚濁防止法に基づく届出を受理し、県に進達している。(平成20年度届出受理件数27件) ・県による事業所の水質検査に立会っている	環境推進室
	水質モニタリング・水質事故対策	国や県の関係機関、近隣市町等と連絡を取りあい、迅速な事故処理を行っている。以下の機関に連絡を行う。 ①沼津河川国道事務所 河川管理課 ②静岡県沼津土木事務所 管理課 ②水質事故の影響を受けると予測される市町 水質汚濁苦情件数 4件/年(平成20年度) 河川BOD環境基準達成状況(達成地点/測定地点) 5/5	環境推進室
	周辺自治体との連携	・河川水質・有機塩素系溶剤・水生生物調査等を行い広報紙でも河川水質調査、ごみや生活排水関係など掲載し、川を汚さないよう呼びかけている。 ①河川水質調査 ・市内12箇所/年4回(5月、8月、11月、2月) ②有機塩素系溶剤調査 ・五市四町に合わせて年2回(8月・2月) ③ゴルフ場農薬調査 ・年1回(6月)市内5ゴルフ場 ④水生生物調査 年1回(7~8月)親子 ⑤企業排水調査 年3回 21事業所 ⑥狩水協による河川清掃 年1回(6月) ⑦環境大会での河川美化ポスター・標語の展示	環境推進室
	有害化学物質対策	・浸出水処理施設の管理を専門業者に委託し、放流水の適正管理を行ない、また放流水の分析も専門業者に分析してもらい、公害を出さないように適正管理している。 ・施設管理委託 2,720千円(H20) ・水質分析(含むダイオキシン類) 1,390千円(H20)	美化センター
		・有機塩素系溶剤の調査を行っている(井戸水14箇所 14検体、河川9箇所 9検体、湧水4箇所 4検体、クリーニング1箇所 2検体、事業所6箇所 10検体) ・ゴルフ場の農薬検査を年1回行っている(5ゴルフ場)H15からの基準値超過件数0 ・県によるゴルフ場農薬調査に立ち会っている	環境推進室
3-2-2 水を大切に しよう	節水	水道週間(6月1日~7日)において、市の広報紙や街頭キャンペーンで節水と呼びかけている。 また小学校の社会科見学の一環で、配水地等の水道施設見学を実施し、水の大切さを啓発している。 市民1人1日平均有収水量 354.20/人・日(H20)	水道総務室
	地下水の涵養・保全	・土地利用事業において地下水涵養の指導・推進を行った。 ・地下水を利用する企業等で組織する市地下水採取者協議会の運営を事務局として行い、市内地域における必要用水の安定供給の確保及び水資源のかん養、地下水の適正かつ合理的な採取を啓発した。(総会1回、会議1回、講演会1回、研修会1回) ・御殿場市、小山町と共に東富地下水利用対策協議会を組織し地下水利用についての意見交換及び合同の湧水量調査をそれぞれ2回行い広域的な地下水涵養・保全に寄与している。 ・県が主催している「黄瀬川流域地下水利用に関する打合せ会」(計4回)に出席した。	企画政策室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
3-2-3 空気をきれいにしよう	自動車排気ガス対策	<p>バス交通</p> <p>(1)既存路線の維持存続 広域的幹線的路線については、国庫補助路線として、国、県による補助を行っている。 国庫補助に該当しない路線のうち、5路線(深良原路線・青葉台路線・十里木路線・須路線2系統)については、路線ごとの収支欠損額の2分の1を市で補助を行った。</p> <p>(2)交通空白地帯の解消と新規路線の開設 住民要望が高く、また岩波駅周辺の混雑緩和を狙って、平成17年度より、岩波駅と市北西部地域を結ぶ、市の自主運行バス事業を開始した。 また、平成18年8月より、関東自動車工業、富士急シティバス、裾野市において公共交通機関利用向上に関する協議を行い、朝夕の社員輸送のため、沼津駅・三島駅からの路線バス新設と岩波駅からのシャトルバス新設についてPR活動に協力した。 平成20年度より、市内バス路線の再編を行うため、裾野駅を起点とする実証実験(3路線)を開始した。</p> <p>鉄道交通</p> <p>御殿場線の輸送力増強 御殿場線沿線市町で構成する御殿場線輸送力増強促進連盟にて、御殿場線の輸送力増強や利便性向上を関連機関に陳情を行っている。(毎年)</p>	企画政策室
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市公用車について、アイドリングストップを推進している。</li> <li>・ノーカーデー(毎月0のつく日)について、公用車の使用を控えること、またアイドリングストップを推進している。</li> <li>・ディーゼル微粒子除去装置の装着推進については今のところ行っていない</li> </ul>	環境推進室
	事業所排気ガス対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばい煙等を排出する事業所について、公害防止協定を締結している。</li> <li>・大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法に該当する施設について、届出を受け付け県に進達している。平成20年度大気関係届出受理件数17件、ダイオキシン関係届出受理件数1件)</li> <li>・県による施設調査に立ち会っている。</li> </ul>	環境推進室
	大気モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化センターにおいて、大気の時常観測を行っている。</li> </ul> <p>大気汚染苦情件数 5件/年(平成20年度) 悪臭苦情件数 5件/年(平成20年度)</p>	環境推進室
	有害化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の老朽化に伴う修繕や工事を行なっている。平成15年から飛灰処理施設を追加し、運転管理を行なっている。(平成20年度88,633千円維持修繕工事)</li> </ul>	美化センター
3-2-3 空気をきれいにしよう	有害化学物質対策	<p>市内4箇所(運動公園、市役所、向田小、南小)において、年4回ダイオキシン類の測定を行っている。(H15から基準値超過なし) (平成20年度)</p> <p>ダイオキシン類濃度(運動公園) 0.015pg-TEQ/g ダイオキシン類濃度(裾野市役所) 0.020pg-TEQ/g ダイオキシン類濃度(向田小) 0.020pg-TEQ/g ダイオキシン類濃度(南小) 0.020pg-TEQ/g</p>	環境推進室
	屋外焼却対策	<p>火災予防条例第25条「たき火」及び第45条「火災と紛らわしい届出」に基づき、屋外焼却に対する指導を実施した。</p> <p>火災と紛らわしい届出 平成20年度実績 59件 火災と紛らわしいたき火等の通報に対する現場確認指導 平成20年度実績 12件</p>	消防総務室
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通報により現地指導、広報すそのへ掲載、自治会へ回覧</li> </ul>	環境推進室
3-2-4 住みよい静かな環境をつくらう	騒音・振動対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発行為では、技術基準に従い、緑地の確保など適切な指導を行った。(20年度開発行為面積267,051㎡)</li> <li>・既存市道に関する騒音、振動対策の植樹帯の設置は行っていない。</li> <li>・市事業として緩衝緑地の整備計画はない。(緑の基本計画)</li> </ul>	都市計画室
		<p>請負工事業者には低騒音・低振動の建設機械を使用するよう指導を徹底している。</p>	建設室
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音・振動の苦情に対し、現場の調査をおこなっている。</li> <li>・国道246号における騒音を測定し、国土交通省に防音壁の参考資料として提出している。</li> <li>・騒音規制法、振動規制法に基づく届出の受理をおこなっている。(平成20年度騒音届出受理件数31件、振動届出受理件数28件)</li> </ul> <p>騒音苦情件数 4件(平成20年度) 振動苦情件数 0件(平成20年度)</p>	環境推進室

## 環境目標4 市民が環境問題に対して 広い視野と責任を持てるまち

### 4-1 省エネルギーな生活の推進

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
4-1-1 排出ガスを減らす交通システムをつくろう	排気ガスの削減	買換えは例年4～5台を予定していますが、買換える場合は全て低公害車を導入するよう考えております。 (ブルーサー等6台、バイク4台、須山振興会2台は除く) (平成16年度 132台中/18台、平成17年度 132台中/22台、平成18年度 137台中/27台、平成19年度 129台中/32台、平成20年度 132台中/36台) 市役所における低公害車割合:27.3%(平成20年度)	管財室
		・年間14回ノーカーデーとして、市職員は通勤に自動車・バイクを使わず、徒歩・自転車・公共交通機関を使用するよう努めている。 ・ノーカーデーには出張の際にも公用車を使わず、公共交通機関を使用するよう努めている。 H20の実績:本庁79%、外部42%、消防42%、保育園19%、幼稚園36%、全体53%	環境推進室
4-1-1 排出ガスを減らす交通システムをつくろう	公共交通機関の整備	○公共交通機関の利用促進 ①利用しやすい車両の導入:低床ノンステップバス車両の導入補助の実施(2両:内1両はハイブリット低公害車両) ②広報活動:市産業祭にて交通事業者協力により小型車両とハイブリット低公害車両の展示を行った。 ○新たなバス運行方策の検討 市北西部地域と岩波駅を結ぶバス路線の新設(平成17年4月運運行開始) 裾野市内バス路線の再編のため裾野駅を起点とする実証実験(3路線)を開始した。 ○環境にやさしい交通システムの検討 交通事業者が導入する低公害車両について、導入補助を行う。	企画政策室
4-1-2 省エネルギーな生活をしよう	自然エネルギーの導入	・一般住宅に対して、1キロワット5万円で20万円を限度として補助。 住宅用太陽光発電設置補助件数 36件/年(平成20年度) ・補助制度を広報、ホームページにて周知。 ・平成21年度から太陽熱高度利用システムの設置に対して一律3万円の補助を行う予定。	環境推進室
	省エネ行動の実践	裾野市役所における電気の使用量は、年度別に次のとおりです。 平成12年度 611,002kwh(基準年) 平成15年度 623,256kwh(2.01%増) 平成16年度 620,410kwh(1.54%増) 平成17年度 611,322kwh(0.05%増) 平成18年度 626,850kwh(2.3%増) 平成19年度 644,496kwh(2.8%増) 平成20年度 624,060kwh(2.1%増)	管財室
		夜7時にはほとんどの店舗が閉店するため、ライトダウンされている状況にある。 深夜営業店舗等への省エネ協力の依頼は特に行っていない。	商工観光室
		・6月1日から9月30日までクールビズへの取り組み(ノーネクタイ等) 夏季28度に設定 ・就業5分前に点灯、昼休み時間消灯 ・毎月1回以上ノーカーデー実施 ・冬季19℃に設定 ・洞爺湖サミット期間中(平成20年7月7日～7月9日)にあわせてノーカーデーの実施、公用車使用の自粛、ノー残業による早めの消灯の呼び掛けを実施。 ・地球温暖化防止対策として市内の省エネルギーの推進のため省エネルギービジョンを策定	環境推進室
		昨年と同様で、ライトダウンの取り組みは、期間中に検討となっているため、具体的な取り組みはしていない。 防犯上、市全体を暗くすることが良いのか考慮する必要がある。 不必要な電灯を消灯することに異議はないが、ある市では防犯のために一家一灯運動をしているところもある。この辺の議論がなされていないのか。このことは、環境基本計画策定時に担当者に伝えてあり、また、どこまでライトダウンすればいいのか決まっていない。 大都市における無駄と思える夜間照明などはライトダウンするべきではあるが、裾野市内にライトダウンするほど夜間明るい場所はない。イベントとして行なうのであれば、洞爺湖サミットで決まったクールナイトと称して、七夕の夜一斉に消灯することが全国的に行なわれている。ただし、実施するには検討すべきことが多く存在する。	企画政策室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
4-1-2 省エネルギーな生活をしよう	環境にやさしい企業育成	すそのテクニカルがゼロ・エミッションを研究、推進している。 市でも年500千円の補助をしている。	商工観光室
		過去ISO14001取得支援の依頼はありませんでした。企業作成の実績書を情報公開コーナーにて公開しています。実際の取得には、専門知識が費用な為、市役所単独での取得支援は困難です。 市内ISO14001認証取得事業所数 27件(平成20年度)	環境推進室

#### 4-2 森林資源循環の確保

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
4-2-1 林業の振興を推進しよう	林業経営の強化	・森林組合に対し運営補助や安定的間伐事業の委託をし、経営の安定化を図り、組合を通し従業者の養成、確保を実施している ・富士流域林業活性化センター会員となりこの会を通し林業講習会や地域材利用促進事業に対し支援をしている。	農林振興室
	間伐促進と間伐材利用	森林組合により間伐材はできるだけ搬出し、富士木材センターに卸すようにしている。また、間伐材を利用して土砂流出防止柵、作業路等にも利用しながら有効利用を図っている。 間伐材利用量 1,515m <sup>3</sup> /年(平成20年度)	農林振興室
4-2-2 森林の保全をしよう	森林の現状分析	裾野市内については、間伐をとおしながら森林組合に現況把握していただき報告を得ている 現在治山目的として、毎年200haを目標として、間伐を実施している。	農林振興室
	森林・里山等の整備・保全	市内の千福小・富二小・須山小に市より各校3万円、静岡県緑化推進協会から各校5万円ずつ補助を受けている。 花壇・畑の手入れ、種蒔き、球根植えをし、植物を育てた。 アルミ缶・牛乳パック回収、緑の羽募金、地域環境美化運動を行った。 年2回緑の募金を行う。春は、市内小中学校・庁舎内で、秋には、市内の小中学校・庁舎内・外部職場・企業で募金を行っている。 緑の少年団参加人数 144人/年(H20)	農林振興室

#### 4-3 環境教育の推進

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
4-3-1 環境教育に取り組もう	あらゆる段階での環境教育	ビオトープの試行として須山小学校に水中生物観察池がある。今後環境教育の推進として他校へも順次設置を行いたい。 新設校の南小学校に太陽光発電施設を設置し、発電量表示装置を理科や総合学習の事業に活用し児童の環境学習効果の高揚に役立て、あわせて保護者や来校者への環境意識の広がりを図る。 行事等で来校する保護者、地区住民には現在の発電量、CO2削減量をパネルで確認する事により、新エネルギーについて考える機会を持つことが出来た	教育総務室
4-3-1 環境教育に取り組もう	あらゆる段階での環境教育	「環境教育」という特設された科目としてではないが、教科領域等において、特に社会科・理科・総合的な学習の時間において、市内全小・中学校において環境保全や自然保護などにかかわる内容の学習を行っている。 環境美化活動を、すべての小・中学校で行っている。 アルミ缶回収活動に取り組んでいる学校は、小学校(9)、中学校(4)である。 春・夏に行なわれる地域一斉河川清掃について学校便り等を通して家族で参加するよう働きかけている。 月1回クリーンデー、年間4回校内グリーンクリーン活動、全学級が年間2回地下道清掃、月1回縦割り集団による校内美化活動(週1回の学校あり)、三校(小・中)連携地域美化活動、縦割りによる全児童職員草取り活動、生徒会主催の地域ゴミ拾い活動、生徒とPTAによる資源回収活動、ごみゼロ運動、地域美化奉仕活動、青少年健全育成協議会の地域グリーンアップ作戦に参加等々 学校ビオトープの設置を検討している学校がある。 学校給食用牛乳パックの回収に取り組んでいる。 平成20年度現在ビオトープ設置小中学校 1校	学校教育室
		園児が自然と親しむための遠足や園外保育を実施した。	こども福祉室

具体的な取組	取組項目	平成20年度実施状況	担当課
4-3-1 環境教育に取り組もう	環境講座等の開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裾野市を学習する会にて児童に市の環境に関する説明をした。</li> <li>・地域団体の要請により環境出前講座を実施(H20 1回)</li> </ul>	環境推進室
		1.富士山や愛鷹山に生息する動植物等の観察会を継続的に実施。環境が私たちの生活とどのような関係があるか紹介している。自然環境の悪化が私たちの生活にどのような影響があるか、環境をテーマにした出前講座でも紹介している。 富士山資料館講座参加者数247人(平成20年度)	富士山資料館
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録数 団体・・・55団体(3,594人)、個人・・・251人</li> <li>・ボランティアセンター実施講座               <ul style="list-style-type: none"> <li>点字講習会・・・・・・・・・・8/28実施(参加者 10人)</li> <li>裾野市災害ボランティア本部立ち上げ訓練・・・9/1実施(参加者 4人)</li> <li>災害シュミレーション・・・・・・・・10/25実施(参加者 22人)</li> <li>県内外災害ボランティア図上訓練・・・・・・・・2/21～22実施(参加者 8人)</li> </ul> </li> </ul>	地域振興室
4-3-2 環境情報の公表を充実しよう	環境情報の充実	1.富士山で観測される情報を得るため、富士山測候所有効利用検討委員会に参加し、山頂での研究について情報をえている。 2.富士山を中心とした環境情報を得るため、近隣の博物館関係6施設で、富士山ネットワークを組織し、近隣の情報を交換している。また、富士砂防事務所や民間の研究機関、や大学とも連携し、富士山情報を収集している。 富士山資料館入館者数11,405人(平成20年度)	富士山資料館
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化、大気汚染など地球的に環境が悪化するなか、他の分類とのバランスを考慮しつつ、今後も市民の皆さんに関心を持ってもらえるような環境図書を充実させていく。</li> </ul> 自然科学系蔵書 6,913冊(平成20年度)	鈴木図書館
	環境基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPに概要版を掲載。</li> <li>・環境市民会議を実施。</li> </ul>	環境推進室